

2013-B					
拠出金・基金の名称		国際通貨基金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国際通貨基金(IMF)					
【所管官庁担当局課・室名】国際局国際機構課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 マクロ経済等能力構築のための技術支援等					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千円)	レート	ODA率(%)
平成25年度	21,403,938	30,168	18,930,122	1米ドル = 82円	100
平成24年度	8,977,052	24,403	7,000,405	1米ドル = 81円	100
平成23年度	3,660,103	24,100	1,515,184	1米ドル = 89円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 技術支援の大部分はIMFの内部資金で行われているものの、ドナーからの拠出金の重要性が一段と増しており、IMFはドナー支援により、技術支援の需要増加に効率的に対応することができている。 日本が資金を拠出するIMFの技術支援は、これまでにマクロ経済プログラムや構造調整プログラムの策定、実施、継続のための能力の構築に取り組むIMF加盟国を支援してきた。最近では、世界金融危機への対策や制度的能力の構築に取り組む加盟国を支援すべく、技術支援を拡大している。我が国としても、こうした一連の取り組みについて評価している。					